

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 欠席委員連絡（板倉委員）
- 

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 開会宣告
  - ・ 議題の確認
- 

1 調査事件

(1) 函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備に関わる民生常任委員会所管施設について

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件について、本日付で経済部から各議員へ函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備の方向性について、中間報告の資料が配付されている。
- ・ 本件資料については、直接的には経済建設常任委員会の所管となり、本日、所管の経済建設常任委員会が開催されているが、資料中、統廃合を検討する施設等として民生常任委員会所管の 4 施設が掲載されていることから、本日委員会を開催した。
- ・ 本日配付の資料に関わる民生常任委員会所管施設について、理事者からの説明を求める。（「はい」と日角委員）

○日角 邦夫委員

- ・ 民生（常任委員会所管施設）に関わる簡単な資料があれば提出していただきたい。

○委員長（見付 宗弥）

- ・ ただいま日角委員より、民生常任委員会所管の 4 施設の概要がわかる資料について要求があった。
- ・ 理事者に確認するが、ただいまの資料について、提出いただくことは可能か。

○市民部長（佐藤 聖智子）

- ・ 4 施設の簡単な概要を一覧にまとめた資料があるので、これを配付させていただきたい。

○委員長（見付 宗弥）

- ・ 配付可能ということなので、委員会として、理事者に対して資料の提出を求めるということによるのか。（異議なし）
- ・ それでは事務局に資料を配付させるが、配付資料を準備することなので、先に理事者に説明をお願いします。

○市民部長（佐藤 聖智子）

- ・ 機構順により 3 部を代表して私から説明する。
- ・ 函館駅前東地区市街地再開発事業における公共施設整備については、本年 5 月に経済部及び都市建設部が所管常任委員会において、函館駅前・大門地区にふさわしい公共施設が必要であり、そのあり方について検討していくと報告されており、本日付で、この公共施設整備の方向性の中間報告として、

経済部から各議員に資料が配付されたところである。

- ・ 本件については経済建設常任委員会所管ではあるが、市民部・保健福祉部・子ども未来部所管の施設も関連していることから、簡単に説明させていただく。
- ・ 配付資料中、2の公共施設の役割と考え方に記載のとおり、新たな公共施設は、函館駅前・大門地区のにぎわい創出を図るため、子どもから高齢者まで性別を問わず集い交流する施設が望ましいという考えであり、「(1) 市民の誰もが学べる場」、「(2) 子どもから高齢者まで性別を問わず気軽に利用できる多様な活動の場、交流の場」、「(3) 観光客やビジネス客が函館を知る場、滞在の場」の役割を備えた施設を目指すという考え方が示されている。
- ・ 配付資料中、3の統廃合を検討する施設等に、これらの役割を勘案し、周辺地域の役割が重複する女性センター、谷地頭老人福祉センター、ふらっとD a i m o n、東川児童館などの施設の統廃合を検討するとしている。
- ・ また、今後のスケジュールとしては、本年12月に公共施設整備の方向性を公表し、令和4年度には整備計画・基本設計、実施設計が策定され、令和8年3月に開業予定というところである。
- ・ 民生常任委員の皆様からの御意見も参考にしながら、今後、所管施設等について検討を進めてまいりたい。

(資料配付：統廃合を検討する施設等概要)

#### ○委員長（見付 宗弥）

- ・ お聞きのとおりであるが、今回配付の資料は中間報告であり、今後、新しい施設のコンセプトや機能を最終的に取りまとめていく中で、所管施設の統廃合等についても併せて検討されていくことになろうかと思う。将来的な事柄については、現状では具体的な答弁が難しいものと思うので、委員の皆様にはこうした状況を踏まえ、御発言いただきたい。
- ・ 今後検討を進めていくという状況なので、所管施設の関係で御意見や御要望等があれば、今後の参考になると思うので御発言いただきたい。
- ・ 各委員から何か発言あるか。

#### ○金澤 浩幸委員

- ・ 何点か確認するが、統廃合を検討する施設の中で女性センターについては、青年センターとの統合ということで千代台公園の中に一緒にするのではないかという話も聞こえてきているが、どのようなか。

#### ○市民部長（佐藤 聖智子）

- ・ 女性センターについては、平成25年度の「今後の公共施設のあり方に関する基本方針に基づく「各施設の今後の方向性」について」の中で、「類似機能を有する青年センターとの統合について検討」との記載がある。
- ・ 当時、このような新たな公共施設の整備検討ということではなく、当時とは状況が変化しているし、また、平成25年度に策定されたものを、ただいま財務部において全体的に見直し作業していると伺っている。
- ・ 今後、各施設については皆様の御意見を伺いながら検討を進めていくことになるので、施設の方向

性については検討の内容を踏まえ変わっていくものと捉えている。

○金澤 浩幸委員

- ・ これらの施設が間違いなく駅前に入るのが決定しているということではない、これから検討して、どういう方向に進めていくのかを明らかにするということがよろしいか。（「はい」の声あり）
- ・ もう1点だが、公共施設を商業棟の3階および4階の2フロアに設置となっているが、このフロアは市の所有となるのか、それとも毎年、入居料を取られるのか。

○市民部長（佐藤 聖智子）

- ・ 経済部の所管ということで確認していないが、床取得か、賃貸になるか、その方法については今後の検討だと聞いている。

○金澤 浩幸委員

- ・ 今後の検討はいいが、スタートの時点で25億円を函館市が入れて、国も半分の25億円で、50億円が国と函館から入っていくほかに、新たに、毎年、フロアに函館市の費用負担が発生するのはどうかなど思っている。市民部長は今答えられないと思うが、経済部のほうにもそこら辺よく検討して、お金がかからないように進めていける方法を出してほしいと思っているので、よろしく願います。

○日角 邦夫委員

- ・ 今、いただいた資料で、4施設は全部地域性が強いと思うが、特に谷地頭老人福祉センターや東川児童館は地域に根差したものだと思うが、それが移動することについて、どのようにお考えか。

○保健福祉部長（大泉 潤）

- ・ 谷地頭老人福祉センターは地域の方のほか、市電の電停も近くにあり、谷地頭以外の方も多く利用している実態もあると考える。
- ・ 平成26年3月に財務部が策定した「今後の公共施設のあり方に関する基本方針」を基本として、経済部が中心となり、新たな公共施設の持つ役割を考慮して今回、統廃合の対象となる施設を抽出したところであるが、統廃合については、今後、所管部局とともに利用実態、経費や利便性などを総合的に勘案しながら検討していくことになるものと考えている。

○子ども未来部長（深草 涼子）

- ・ 東川児童館についても、「今後の公共施設のあり方に関する基本方針」を基本としている。
- ・ 東川児童館は女性センターの中に併設された施設である点も含めて、今後、統廃合の検討に当たり、新たな公共施設の機能や運営方法などを勘案して、どのような形がいいのか、所管部局と協議してまいりたい。

○茂木 修委員

- ・ 今は未確定ということではっきりしないが、今後検討していく中で、それぞれこの4施設が行っている事業、持っている役割が新しい施設に移った場合に、それが変わっていくこと、減少することも起こり得ると思うが、今言える範囲で基本的な考えをお聞きしたい。

○市民部長（佐藤 聖智子）

- ・ 女性センターは、現在、相談事業、啓発事業、活動団体への場の提供、学習事業を展開している。
- ・ これからの検討で、多少のソフト事業の精査は必要になると考えているが、主たる事業と考える相

談事業と啓発事業の機能が継承されることが必要であると考えている。

- ・ 施設の統廃合も含めて、議会や利用者の皆様の御意見や、今後明らかになる公共施設の整備などを勘案して検討してまいりたい。

#### ○保健福祉部長（大泉 潤）

- ・ 谷地頭老人福祉センターとふらっとD a i m o nについては、どちらも様々な事業を実施しているところであり、高齢者をメインターゲットとした施設であるが、ふらっとD a i m o nは特に高齢者に限らず、様々な年代の方も利用できる実態がある。
- ・ 無料または低額な料金で相談に応じること、あるいは健康の増進、教養の向上、レクリエーションのための便宜供与などが、両方に共通する機能であると思う。
- ・ 市民部長の答弁にも重なるが、様々な事業の機能を継承するというを基本的な考え方として、所管部局や関係団体と協議をし、また、委員の皆様から御意見を伺って、今後、検討してまいりたい。

#### ○子ども未来部長（深草 涼子）

- ・ 児童館は基準上、遊戯室、図書室、集会室などが必要となり、それら全てを新しい公共施設に入れるかどうかは今後の協議にもなるが、検討中である。
- ・ 子供の遊び場や放課後の居場所として必要となるので、そちらの部分の機能が決してなくなるような形で考えてまいりたい。

#### ○茂木 修委員

- ・ ふらっとD a i m o nは大門にあるので、それをあえてまた新しいところに持ってくる——まだ決まっていないが、その意味や、リストアップされたイメージだけでもお聞きしたい。

#### ○保健福祉部長（大泉 潤）

- ・ ふらっとD a i m o nは、現在も当該再開発区域にある函館駅前ビルにおいて運営をしているが、高齢者等の利用が一定程度あり、にぎわいの創出に寄与できる事業であることや新たな公共施設の役割を担う事業と考えることから、公の施設ではないが、統廃合を検討する施設としたところであると経済部から聞いている。

#### ○茂木 修委員

- ・ 基本的なことについて異論はないが、ここに集約するということになれば、今後、進めていく上で利用者の御意見などをお聞きして、理解を求めているかなければいけないと思うが、その辺の考えやスケジュールはどうか。

#### ○市民部長（佐藤 聖智子）

- ・ 女性センターについてだが、本日、資料配付され、新聞報道等もされるものと思っているので、ここを皮切りにして、利用団体、指定管理者もだが、皆様の御意見を伺い、参考とさせていただきながら検討していくことになる。
- ・ 新たな公共施設整備の方向性に当たっては、経済部所管だが、何らかの意見を聞く場は各施設に任せられているので、女性センターにおいては、今のように、利用者の声を聞いてまいりたい。

#### ○保健福祉部長（大泉 潤）

- ・ 市民部長からの答弁にもあったが、年内には方向性が出て、令和4年度には、基本計画、設計とい

う段階に入ってくる。

- ・ 方向性が出た段階や計画などが整ってくる段階で、委員や市民の皆様に御意見をいただく機会を設けることになると思う。
- ・ 谷地頭老人福祉センターおよびふらっとD a i m o nは様々な事業を実施、展開しており、できるだけ交流や活動に資するような機能を継承するということを基本に考えているが、必ずしも全ての機能が移転されるものではないと思うので、市民の皆様の理解が得られるように取り組んでまいりたい。

#### ○子ども未来部長（深草 涼子）

- ・ 市民部、保健福祉部と同様に、臨時の児童館運営委員会の中での説明や貸し館などの利用者に対しても、今後、説明の場を開催していきたい。

#### ○茂木 修委員

- ・ 私は基本的には新しい施設に統合するほうがにぎわい創出にもつながるだろうし、利用者の利便性が高まるんだろうなという期待もしている。
- ・ 経費なども考えると、効率的な運営ができると期待もしているので、しっかり検討して市民の理解を得ながら進めていただきたい。

#### ○荒木 明美委員

- ・ 先ほど日角委員から、その地域性という話が出たが、老人福祉センターや児童館というのはこういう地域の中での設置基準や決まりはあるのか伺いたい。
- ・ 老人福祉センターと児童館は、西部地区で言う1方面、2方面の中で、ほかのこういった機能を有する施設があるのか伺いたい。

#### ○保健福祉部地域福祉課長（金指 真弓）

- ・ 老人福祉センターの設置基準はない。
- ・ それから同じ地区の中に、同等の機能を持つ施設は現在ない。

#### ○子ども未来部次世代育成課長（長尾 久美子）

- ・ 児童館についても設置基準はないが、市としては1校区もしくは2校区に一つ児童館を設置するというになっている。
- ・ 東川児童館の近くには谷地頭児童館、少し遠い入舟町には西部児童館、あいよる21の中にも児童センターが入っている。
- ・ 東川児童館のエリアはあさひ小学校区であり、似たような機能としては、あさひ小学校の中で放課後子ども教室を地域の方々と一緒に開催している。

#### ○保健福祉部長（大泉 潤）

- ・ 老人福祉センターに関わっての先ほどの答弁の補足であるが、今回の施設の抽出に当たっては、経済部を中心として、当該再開発区域である若松町を含む西部地区、それからまた、その周辺地区である中央地区から選び出したところである。
- ・ 谷地頭老人福祉センターと類似の機能を持つ施設として、あいよる21の中に、総合福祉センター内老人福祉センターがあり、囲碁、将棋、カラオケなどを楽しまれているが、現在、こちらは統廃合の対象とはなっていないことから、今後、あいよる21の機能を含めて全体的に、老人福祉センターの地

域での必要性、それから高齢者をはじめ多世代の交流ができるような機能というのが西部・中央地区でどのように実現できるのかということ、意見等を取り込んで検討してまいりたい。

#### ○荒木 明美委員

- ・ 幅広い子供から高齢者まで年齢・性別を問わず、集い交流する施設になっていくということは、今までターゲットを設けていた4館が一つになり、面積も狭くなり、観光客やビジネス客などいろんな人が出入りする中で、例えば相談業務などの場を設けられることになると思うので、そういった配慮をぜひ検討いただきたいと思う。

#### ○富山 悦子委員

- ・ 今回、西部地区の施設が集中してるということで、これから西部の活性化をしようということで動いてる部分もあると思うが、これと切り離されてるというところに私はちょっと疑問を感じている。
- ・ 例えば、谷地頭老人福祉センターのお風呂について、新川町とか若松町とかこの辺にお風呂がなくて、谷地頭温泉が本当に良かったんだけど、今回の新型コロナウイルス感染症の影響でまだストップしていて、本当に困っている方がたくさんいる。そういうことで本当に楽しみなこの谷地頭老人福祉センターのお風呂をやはり再開してほしいと思うし、ふらっとD a i m o nについては、高齢者大学などで結構ここを利用されてると思うので、これはもっともっと縮小されるかなと思う。
- ・ 谷地頭老人福祉センターの温泉がなくなることがすごく懸念されるが、これについてはなくなるのか。

#### ○保健福祉部長（大泉 潤）

- ・ 函館駅前東地区市街地再開発事業における新たな公共施設の機能については、統廃合を含め、入浴サービスも含めて、今後検討を進めることになるが、谷地頭老人福祉センターが統廃合の対象となった場合、新たな公共施設は限られたスペースであることから、現実的には入浴サービスの機能移転は難しいのではないかと考えている。

#### ○富山 悦子委員

- ・ 現実的には難しいということは、移転を考えていかないということだと思うが、亀田交流プラザみたいなイメージで、この公共施設を考えているのかなと思うが、その辺はどうか。
- ・ もう一つ私の意見としては、公共施設がなくなると、人口減とかそれが確実だと思う。この前の西部地区のシンポジウムでもそういう話をされた方がいた。ましてや、これから高橋病院も移転するということであれば、なおさら西部地区が本当に静かになってしまう。本当に観光客だけの西部地区になると思うので、本当にぜひその辺の考えも回答いただければと思う。

#### ○保健福祉部長（大泉 潤）

- ・ まだ決まったわけではないが、特に入浴サービスについては先ほど御答弁申し上げたような見通しではないかなと感じているところである。
- ・ 公共施設と人口の関係、あるいは高橋病院の移転にも言及があった。そのことに今何か私がコメントするものではないが、富山副委員長御指摘のとおり、その地域に住む方の幸福度を維持する、あるいは上げていくことと人口というのはたしかに深く関わるものかと思う。
- ・ いずれにしても暮らしやすい地域を維持することは、今、谷地頭老人福祉センターとふらっとD a

i m o n の 2 施設だけで考えるものではないかなという考えを持っている。

- ・ 令和 4 年 4 月から福祉拠点を整備し、それに繋がる地域資源である人のネットワークを強化していくことで社会的孤立を防ぐようなことをはじめ、まず我々は福祉を中心として、地域に住む方の幸福度を上げるということを総合的に取り組んでいながら、その地域の活性化にも配慮してまいりたい。
- ・ 亀田交流プラザみたいな形になるのかというようなお話もあったが、この新たな公共施設の姿、全体像については、今後、所管部局を含めて関係機関とよく話をしてまいりたい。

#### ○富山 悦子委員

- ・ 5 月の経済建設常任委員会委員協議会でも、パブリックコメントだけではなくて、やはりその施設の利用者、地域の方たちのたくさんの意見を聞いて進めてほしいと、意見を聞いて反映してほしいと言ったので、ぜひその検討もお願いします。

#### ○委員長（見付 宗弥）

- ・ ほかに発言あるか。（なし）
- ・ 理事者におかれては、本日の各委員の御発言を踏まえ、今後の検討を進めていただきたいと思います。
- ・ 理事者は退室願う。

（各部局 退室）

- ・ 議題終結宣言

---

## 2 その他

#### ○委員長（見付 宗弥）

- ・ 次に、2 のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前 10 時 34 分散会